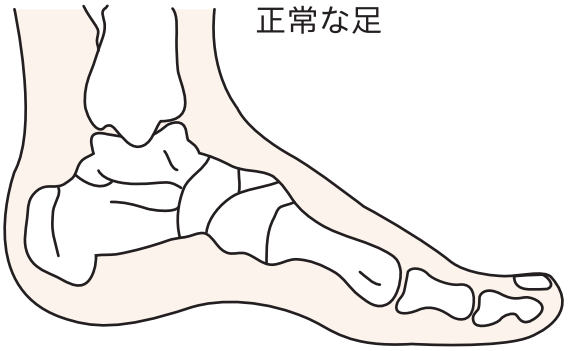
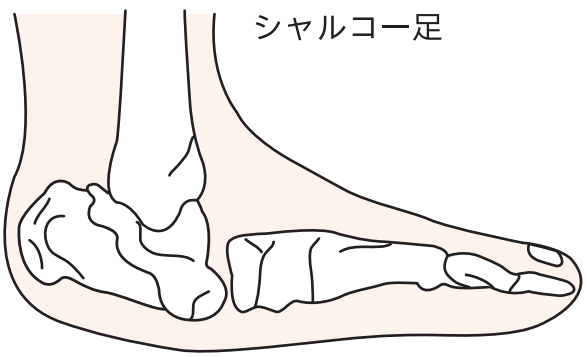
医療法人社団 青泉会
下北沢病院

シャルコー足

シャルコー足とは、自然に足の骨が強く変形する疾患で、糖尿病などによる重度の神経障害がある方に起こります。骨は骨折するほど弱くなり、歩行を続けることで足が変形してしまいます。この疾患が進行すると、土踏まずの骨の配列が大きく崩れてしまうことによって、歩行が困難となり、足に難治性の潰瘍を形成してしまいます。
そのため、最悪の場合には切断にまで至る恐れがある、非常に深刻な疾患です。特に糖尿病のある方は神経障害を起こしやすいので、常に予防を心がけ、毎日欠かさずに足の状態をチェックすることが大切です。異変を見つけたときには、すぐに専門医を受診するようにしましょう。







シャルコー足の症状は、足に物を落としたり、捻挫や骨折などの急なケガや、長距離歩行による小さな衝撃の繰り返しなどで現れます。シャルコー足の症状は感染した時に似ていますが、とても深刻な問題であり、医師による治療が必要となります。



シャルコー足になる原因

温度や痛み、傷ができたことを感じる機能が低くなる、障害によるものです。また、自律神経が障害されることも原因になります。神経障害が重度の場合は足の感覚が全く無くなり、ケガをしても気づかないまま歩行をつづけると、症状が悪化します。神経障害のある方（特に長期間患っている方）は、シャルコー足になるリスクが高いです。また、神経障害に加えて、アキレス腱が硬くなっている方はこの疾患が現れる可能性が高くなります。

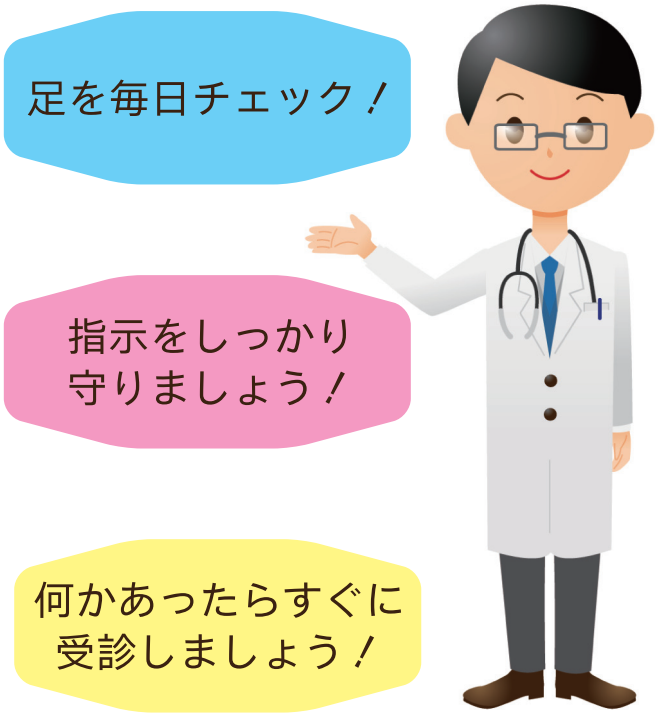
医療法人社団 青泉会
下北沢病院

シャルコー足

自宅でのケアと予防方法

シャルコー足を完全に治すためには、医師による診断と治療が非常に重要です。
予防としてはまず、下記を実践してみましょう。

- ★糖尿病のある方は、血糖値のコントロールをしっかり行い、神経障害の進行を防ぎましょう。
- ★定期的に足専門外来を受診しましょう。
- ★両足を裏まで細かく、傷が無いか、異変が無いかなど、毎日チェックしましょう。何か異変を見つけたら、すぐに受診しましょう
- ★足をぶつけてケガをしたり、運動のしすぎで靴ずれを起こしたりしないよう、注意してください。
- ★治療後の再発、潰瘍の発生、最悪の場合に至る切断を予防するため、医師の指示は必ず守りましょう。



治療方法

急性のシャルコー足の症状が見られる場合は、車椅子や松葉杖を使用して、足にかかる負担を取り除きます。重度の場合には手術をお勧めしております。
足の変形がみられる場合は装具を処方し、常に履いていただくように指導します。



短下肢装具

医療法人社団 青泉会 下北沢病院
〒155-0031
東京都世田谷区北沢 2 丁目 8-16

受診受付窓口
TEL：03-3460-0300
http://shimokitazawa-hp.or.jp/